

第5回 湘南港ヨットハウス（管理事務所）I 新築に関する施設利用者連絡調整会議 議事録概要（資料説明後の意見交換）

日時：平成23年8月6日 17:00～19:00

場所：かながわ女性センター1階集会室

議事録概要（資料説明後の意見交換）

【事務局】

皆さんレース等で色々な海域でされていると思いますが、例えば3.11の津波の発生を受けて、沖へ何キロ出ている人はどこそこへ行くだとか、近くで操業されているかたは直ぐ戻ったとか、マニュアル的な、方向的なことを考えていることがあれば参考になる。その話も併せて伺いたい。

【利用者】

赤丸が広域避難場所江ノ島神社。点線が近道であるが道が非常に狭い。周りは全て民家が立ち並んでいる。津波が来る前には必ず大きい地震があつて、その地震による建物の崩壊や火災があり得るが、その場合にこの道が使えるかどうか正直疑問である。陸上にいる人間は道で高台へ上がれるのかどうか、ということ。狭いより極力広い道がほしい。それが希望である。もちろん新ヨットハウスの屋上避難スペースは広ければ広いほどいい。

【事務局】

避難路については、この前も藤沢市災害対策課と協議した。湘南港で全ての避難を賄うことは不可能と考えている。だから、島全体の津波対策という、藤沢市の地域防災計画の中に書いてあるが、島全体の避難対策の中で、湘南港が分担する役割を考えていく、という話をしてきた。高台への避難対象として、湘南港の利用者も避難対象人口の一人として考える。避難路と考えられる道を実際歩いてみたが道が狭くて階段が急である。こういうところが避難の、藤沢市の誘導の仕方の中で支障がある。藤沢市と県が話をし、避難対策、避難誘導を藤沢市の誘導の体制の中に踏み込んで考えていかなければならないと考えている。もちろん我々が出来ることは我々でやる。

【利用者】

ヨットハーバーの利用者は夏場、冬場、土日で差がある。夏の繁忙期にはハ

ーバーに来ているお客さん数は200～300人位ざらにいる。その内の例えば1/3が海上へ出ていて、2/3が陸上へいた場合の、その人たちが避難するときに、最低限の屋上の広さという考えではなくて、最大限の広さを考えて欲しい。

【利用者】

想定されているのは、1階軒下まで浸かる深さを想定されている。

2階に上がれば問題ない位の津波を想定しているのか。

東北の様に何mと言う津波がきても、そこに避難していれば第一波を防げるというような高さを想定されているのか、いま計画の図面をみさせて頂くと、屋根の高さが記されている。建築の色々な基準をかんがみした上で、この高さで果たして想定されている津波に対して対応できるのかどうかを伺いたい。

【事務局】

参考資料1に記載しているのは、いま再検証を行っている前の今現在の浸水予測であり、1階軒下までつかかる深さとして2mという資料である。

9月末には湘南港で最悪となる津波想定の中間報告が出てくる。検証のシミュレーションを何回も行うので、全部は出来なくてもどこか代表的なところを抽出するのかもしれないが、いずれにしてもどの位の津波かという最悪のマックスのレベルが出てくるので、それで高さを決めるのかなと思っている。ただ今のヨットハウスの屋根の高さが12mの高さがある。もし今後出てくる津波の高さが今2mですが、これが7m、8mの想定が出てくるとしたら、屋根の部分に津波対策用の柱を立てて、そこにあげていくというような形になるのかな、という気はしている。わからないですけど。

いずれにしても、これは最終的な結論の図面ではなくて、これが大元にあって、いま再検証を実施している。いま出せるのはこれしかない。その中でも元禄地震が最も浸水深の高い地震であるので、これを出している。

【利用者】

浸水深だったら、これから想定するという事で質問するんですが、赤枠で囲ったものが来たら、浮き桟橋は全部なくなりますか？

【事務局】

東北大学の大学の先生が、色々津波の過去の被害を過去に調べている。どの位の波の高さが来るとどんな被害が起きるのかという、統計を取られている。

その中では約50cm位の津波の高さになってくると、もう歩行困難になっ

て、そこからどんどん津波が高くなると、海域では1 m位の波になると生簀・筏・ボートが遊動して、被害がある。係留するボートに対してはかなり水位が上がり、陸上に攻めてくる。

【利用者】

人のことは聞いていない。生簀・筏のことは聞いていない。浮き棧橋のことを聞いている。津波によりどれくらい上がるのか？

【利用者】

満潮で2 mあがれば係留艇は浮棧橋から抜けるのではないか。海底からだど6 mの高さになる。

【利用者】

利用者の会として出ている時に、4年ほど前に、津波の二次被害で浮棧橋の高さで意見が出た。意思を継がなければならないから、必ず毎回言っているのですが、過去の議事録に出てこない。ヨットハウスの話は出るのですが、それよりも利用者の会として来ているから、船がどうなるかな？と言うのを、こういう想定が来たらこうなるよと言うのを報告する義務がある。船は諦めなければいけないのか、避難場所を確保するために・・・

【事務局】

もちろんハーバーで利用目的は、利用者の皆さんは、船の利用で来られる。我々としては先ず人命。人命があって、その次に施設利用上の支障について改善をしていく。

【利用者】

人命が大事なのは分かります。ただそれは当然の義務なのであって、聞かなくても分かりますが、私の所属する会の利害関係については、各人に伺わないと、私は何とも言えません。人命は重要です。現状はどうなるのかなと想定した時に、どの位でやられちゃうのかな？と言うのが常々ヨット乗りからは質問が出ている。台風しかり。

【利用者】

船はどうなっても別に構わない、と言うと語弊がありますが、この間の津波を見ていると、船はいっぱい水に流れて行って・・・そういうのを避けるために出来ることを多分皆さんお考えになって、先ほどの方もそれでおっしゃって

いて、それで船を助けようとかではなくて、それに関わって流れていってしまった後、どうしようもない、津波で上げられてしまった船もいっぱいありますしね。そう言うのを避けたいという事だと思います。それに対して対策を取ると言うことだと思っております。

【利用者】

4・5年前のプーケットの津波。あの時も船がだいぶやられていますから。そうすると流れてきたものから被害を及ぼすって結構あるのですよ。

漂流物に当たって、或いは船どうしがぶつかって。そうすると、必ず僕ら保安庁に呼ばれて、保管状況はどうでしたか？ってやられるのですよ。そこで僕らも説明出来ないと、お前は船に乗っているのになんて言われるのですよ。つまり、辛い事を言われるかもしれないかもしれませんが、辛いのですよ。ですから、保管状況の想定をしておかないと。

【利用者】

藤沢市の防災計画の絡みで市長に要望を出している。日本セーリング連盟として県に要望することがあるなら、はっきり言って欲しい。

現場の話として、先ほど発言があったように避難場所について、せっかく図面を書いているが地震での崩壊と細いですね。

家屋が倒れたりなんかして、多分、ここは足りないのかな？人数的に言っても、ここの利用者もある面で言えば、ここが優遇される。一番最初に。

そうすると、困ったもんだと言う事が前提で、高い歩道を作って下さいと等の要望になる。ずっと前から参加・意見要望しているがヨットハウスの設計は質素なものでいいから機能的な面を重視して欲しい。臨港ハーバーなので施設を重視してほしい。レセプションもいいけど安全面が大切である。皆がどうなってもいいと言う発想はなく、最優先は人である。防災面が重視されるべきである。建物に対して早くやらないといけないとなれば、人の関係で避難場所になるのか、支援の場所になるかわからないけど、何しろ場所がないので、場所が欲しい。

もうひとつは直接感じないが、何処の線で戻ってくるのか。

もう少し、周りが高くなるとか、科学的に、ある程度図面にデータがほしい。

【利用者】

確かに、藤沢市に対しては県のスペックなんですけど、市としても興味を持って取り組むべきではないかと言いたい。だけど、藤沢市の人全員がこの海岸付近に避難建物がなくても・・・藤沢市が拡張整備をやるよりも、鵜沼海岸の人

は建物が無くなっても死なないよと誰か言っている。

確かに湘南港はどうしようもないと言うのは分かるけど、けれど出来ることはある。

私が技術屋だから、別に道路を広げなくても建物を変えればいいだけの話だと思う。構造的に考えれば出来る話ではないか。

今までは部屋の配置だとか一生懸命やっていたけど、やっぱり波が来る事を考えなければならぬ。それよりも、死ぬわけにはいかない。

とすると、建物は芸術だけど、建築の。だけど工学的に見なければいけない。がっばり上にちゃんと物があって、海から如何に早く走って戻って来ることができるのか。そして如何に多くの人をここに収容出来るか、ということ。

それは、構造物としては出来るわけである。だけど、今頃階段を広げるなんて事は不可能。不可能かはわからないけど、出来ない訳でしょ？ だけど県としてはやれば出来る。

だからそういう考えからすれば、ここで見直して、ちゃんと津波対策をしています、ということにするべきであろう。鉄筋コンクリートの構造物でないと駄目。鉄骨構造物だからって、パネルを張っただけではだめ。パネルを張っただけでは津波に対して何の役にも立たない。だから建物は強くしとかなないと見栄えではない。だから、見直して欲しいのは建物の強度。

藤沢市に対してはもっとちゃんとやってよ、市民の安全なんだから、と言いたい。藤沢市は、そんなことを言っても、江の島だけじゃなくて、海岸線も全部あるわけだから、江の島だけをやるという訳にもいかない。

【事務局】

市も取り敢えず市で出来ることとして、避難誘導マップを事細かに作りましょうと言っている。

今現在もこの津波ハザードマップの詳細図がインターネットで出てるが、これをみると、我が湘南港の所は避難誘導道経路が書いていない状態になっている。

この部分をやっぱり避難誘導と言うことで、津波避難誘導計画と言うことでは、やはり湘南港の部分を高台へ避難するという経路をいろいろ市とも我々調整しながら、中身にやっぱり入れていかなければならないと考えている。

だから湘南港はもちろん、出来ることは一生懸命頑張るという立場は変わらないですが、市全体の考え方がすっぱり抜けているのは良くないと思うので、調整していかなければならない。

【利用者】

神奈川県セーリング連盟がこの間集まったときに話したのですが、いま色々な方々が言われたとおり、建物だけではなくトータルが問題である。

さっき言った避難通路の問題で「新しい道路は出来ないのか？」とみんな勝手な事を言ったが、全員がハーバーの中へ行ける、そんなスペースの建物で最大限の人が上へ上がれるような、そういうスペースにして貰いたい。あととはとにかくトータルで。たまたま先週土日に宮城へ行きヨットハーバーを見てきた。その中で、ヨットハーバーだとかとにかく新しい建物、鉄筋の建物は残っているが、それ以外は全部流されている。

比較的新しいヨットハーバーだけど、建物は残っているがガラスは全部無くなっている。そういう意味でも、避難だけではなく、もう少し構造をガッチリやる。見栄えも大事だけど、色々な世界から呼んでの大会もあるが、その中でやっぱり頑丈な部分が必要だと思う。そういうヨットハーバーを見てそう思う。

あとは聞いた話だが、海へ出ていた人間が急いでハーバーの管理の状態でヨットハーバーの放送手段で、色々な情報を集めて、すごい勢いで戻るように携帯電話等を出ている人たちに連絡を取って、とにかく戻って来いと言うことをやったら、若い人達は昔の事が判らないから半信半疑で戻ってきたけど、ハーバーの人達は昔を知っているから、引き返してきた。とにかく必死になって高台へ逃げろと。年寄りも凄い急な高台へ上って、火事場の馬鹿力じゃないけど、そこを駆け上ってよくみんな逃げた。ハーバーじゃなしに、高台へ。そういう経路等、難しい話だが、なんか手立てがないものか？

【事務局】

アナウンスも非常に大切ですよね。知らなければ逃げられないし、昔の方が大正関東地震1923年の経験をされた方は、神奈川県防災当局の方で話を口頭で話を聞いているが、当時まだ元気でいられた方の話を聞くと、まさに壮絶な話をされているが、段々分からなくなっていて湘南港自体も当然地震の時は存在しなかったが、アナウンス、周知も非常に大事。

【利用者】

葉山港の例だが、この前の震災のときに先ず停電したらしい。そうになると、音響放送は電気系統全て停電ですからアナウンス出来ない状態になる。そのときに陸上にいる人が海上に出ている人に津波のシグナルを知らせる方法は、船に知らせるか、後は視覚で送る信号しかない。その場合にヨットハーバーの高い所にオレンジ旗の問題があるが、大津波警報が出て、津波が来ますよという吹き流しをしたいと考えて色々調整している時に、オレンジ旗が発案されて、

それがあつという間に新聞報道されて、オレンジ旗＝津波警報に今なりつつある。ただそれは気象の様式って言うのは、道路標識と同じで、全て国で定めたものである。寸法まで全部決まっている。津波警報の標識はオレンジ旗というのが一人歩きしているのがどうなのかと思う。

【事務局】

それは鎌倉の人たちがやり始めたオレンジマークの事だと思いますが、何らかの視覚的な手段が必要だねって事はみなさんね。ただ今まで使っている国際レースの色とか色んな色と混じるとかえって混乱してくると思う。

オレンジマークと言うよりも、全部オレンジではなく、同じオレンジでも先ほど発言があったように模様を替えて行くとか、大津波警報が出たらオレンジを基調として黒の縞模様をいれるとか、そういう工夫が凄く必要。

言葉はオレンジブラックだけれども、真オレンジと言う訳では決していない。そこはこれから調整して、一番いい目印にしていく必要があると思う。

【利用者】

是非調整して頂きたい。

【利用者】

5月27日に黒岩知事に対し見直し要望を出している。

9月くらいに津波の県の数字とか、国の建物に対する考えが出てきて初めてクラブハウスの見直し、極端に言えば津波避難誘導をクラブハウスに作らなければならないのではないかと考えている。その辺で、今日、発足でやっというように書いてあるから、ある程度データが集まって、そのデータの中でどうするのか、やはり基本的には津波避難誘導を作るということではないか。

今のクラブハウスを生かすなら、その隣にロッカールームを増やすとか、それをもう一度工夫して、高さも10m・12mではなくて、15mという、市もきちんとした数字が出れば対策工事もやるべきである。その辺は今日は細かいことは言えないけれど、そういう話し合いをデータが出たら、我々も意見を出していく。

【利用者】

船のバースのスペースもあるし、避難人数、建物のスペースは限られているが、何人乗れるのか、と言うのが非常に問題で、階段を何個付ければどれだけの人数が残れるか、ハーバー全体で考えて頂いて、大津波で15mを基準に考えれば、ディンギーヤードで考えれば、10m以上の高さは無いと考えられる

ので、バースも含めて、島の全体の人たちが逃げるスペースを検討してもらいたい。例えばこの上だと無理だとしても、一緒にハーバーのスペースの避難所に行けば大丈夫だと言う事を踏まえてハーバー全体で考えていただけるといいのかな、と思う。

【事務局】

9月末の中間報告で、最悪の津波の高さがどのくらいになるのか、今のところ分からないけれども、いま話をしているところでは、ヨットハウスに限っては逃げ遅れた人たち、それ以外の方々は原則高台へという筋は1本通したい。

ただ、こういう一番遠い所から高台へどのくらいかかるのか、そんなに何分もかかっていけないでしょ、と言うのはあると思う。これは江の島湘南港の中に、どの部分に何を決めるのかという事と高さ自体も同時に考えていかなければならない。

【利用者】

実際、旗で考えた場合、この上に利用者だけでもちゃんと逃げられるのかな？というのは結構疑問である。

【利用者】

あいているスペースはあるのですから、そこは有効活用してやって頂くことを検討してもらいたい。

【利用者】

先ほどからの話にも出ているように、今度の建て直しの件ですが、地震対策で9月末に新しいデータが出るということで、それに対応してもらいたい。

私は鎌倉稲村ガ崎に住んでいるが、ハザードマップみたいななんかで、大分混乱があるのではないかと感じている。日常の生活ですからね。見ているんですけれども・・・。

新しいデータに対応していただけるのであれば、さっきから出ている人命の避難も含めて、大分違うと思うので、それについては本課の話ですけれども、予算の方は？

【事務局】

建築工事の予算はまだ全然分からない。ただ今年は見直しをする。建築については毎年度毎年度、前年度にちゃんと県議会を通して、予算承認を受けて、予算を作ることをしているが、今の時点では県議会の承認を得ていない。また

建築工事でどの位の増築費が必要なのかはこれから検討なので、お金が分かって、どの位かかるのかが決まったら予算要望をどんどんやっていく、ということになる。いまどの位なのかという確実な予算は分からないが、でも造ることは間違いない。

【利用者】

今回の津波の前に多分地震があったけれども、今のクラブハウスはあまり被害がなく、地震に強いと感じた。地震でやばいと言われている割にはけが人もなく、良かったなと感じた。

もうひとつは津波で分かったのは、自分の安全は自分で守る。何処に逃げれば安全か。それに対してここなら安全・大丈夫だとした案を先ず考えてもらいたい。9月に防災の基準が見直されると思うが、今の基準は絶対に甘いと思う。それ以上のレベルだと思う。

ヨットハウスにしてもそうだし、逃げる経路は大変だとは思いますが、我々に身を守れる、安全だと思うことが出来るスペースを作ってほしい。

【利用者】

経路に関してはかなり大変で、道も整備されていないし、先に逃げている方も・・・波に飲み込まれるしかないという話を聞いている。

建てやの地盤に関してなんですが、台風のときたかにハーバーの地面の隙間から水が上がってきていた。建てや自体を建てる前に地盤がどうなのか、心配である。穴が開いている所に水が下から上がってきていた。あれってどうしてそういうことが起きているのかな？と。下が甘いのかな？と思った。クルーザーではなくて、ディンギー側のクラブルームの前の方で見た。それでクルーザーヤードの方でも、陸置き出来ないのはおかしい。上に乗せる重さに耐えられないと聞いている。そういうのって・・・。

【事務局】

台風のときたに？ディンギーのスロープのところ？

ボーリング調査＝地面に穴を開けて、でどれくらいの地盤の強度があるのかを調査したところ、皆さんご存知の通り岩盤自体です。大正地震の時は岩盤が1.2m位上がったくらいで、稚児ヶ淵のところに見られるように、ああいう岩盤がずっとこの下にある。地盤自体は液状化という判定は全くなくて、その上に構造物のコンクリートを張ったりしているので、もしかしたら穴が開いて、穴から波が吹き込んでいるのかもしれない。

【利用者】

一昨年、岸壁から波が入って、下水に流した。

【事務局】

地盤は強固岩盤なので。

【利用者】

この間のプロムナードの所にも。

【事務局】

センタープロムナードは見栄え良くタイルを張ったりすると、1年の気温差でタイルとタイルの継ぎ目が伸縮する。だから、タイルのところが段々競り上がってきてしまう。見栄えはいいが。

【利用者】

以前、うちの会長が津波で高いところ、ブリッジみたいなのを企画したことがあると思う。

【事務局】

屋上？

【利用者】

今の建屋の・・・店舗の横に、みんなが登っていけるようにもなるし、その両サイドにそれぞれの予算が無いなら、皆でそれぞれ用意出来たらそれもいいですよ。ハーバーのところでおきたら、狭い階段を上って崩れてしまうよりも、そっちの方が安心。

【事務局】

避難の対象の人数にもよると思うが、湘南港全体で避難は考えなければならぬ問題は確かにその通り。ことヨットハウスの屋上はどの位の人数で、どういう人たちを対象にして、どのくらいの時間で上がれるのか。ヨットハウスだけに全てを任せることは出来ないで、全部で考えなければならない。

藤沢市の防災対策はもちろん。ヨットハウスについては、冒頭で喋ったようなヨットの競技をされている方が、どういう風な逃げ方をして、例えば全員帰って来いよと呼んでいるのか、いま現況ね。それによっても対象人数が変わることを知ってもらいたい。

【利用者】

150人の子供が海にいて、それに親がいる。海の上に200人位いる。

ヨット乗りは命が大事だと言っても、相手は小中学校の子供。200人位を対象にと言う風になる。学生さんもとなると大学生までとなると60歳以上は遠慮してくれと言う事になる。やっぱり、そういう見方からいけば200人。

【利用者】

この間の地震の時は近くのハーバーに500人位の利用者がいた。海に出ている人を含めて活動している人がいた。大会だとかなると、500人～600人が集まるハーバーということになる。それを踏まえた、最大級で考えていただきたい。何人助かったらいいでしょうではなくて。

【事務局】

陸上に最盛期マックス500人位いて、200人位出ている感じですか？

【利用者】

沖に500人位いる。

それが帰ってくるので、とてもじゃないけど上に登るという発想は考えられない。とりあえずハーバーに着いたら何がいかと言う発想でいくと500人以上は沖に出ている。たぶん他にもいらっしゃるでしょうから、200人くらいはたぶんゆうにいると思われる。

【利用者】

東北地震は全員助かっているけれど、それはオートバイだとか車に乗って、一気に逃げた。だけど江の島はそんなことは出来ない。人がいない所なら、いざとなれば何とかなるけど、江の島の場合はひたすら山の上に登れというだけの話になってしまう。

藤沢市だって、全員があんなところ誰も行けないはずである。それはもう全員が理解している。あの階段を上がって全員上に行くなんてそれは無理だ。

【事務局】

橋は耐震化済みである。

ヨットから戻ってきて、橋を車で渡る時間なんてない。それは無理だ。時間がない。

【利用者】

ここは絶対不可能。ハーバーに乗りつけたら、そのまま船から上がる。

【利用者】

このような意見交換を言う会を与えてくださって、大変ありがたく思う。またこう言う機会を続けていきたい。それと日程が1点。建物の跡地の利用計画も今後調整していかなければならない。

【利用者】

津波ですから、高いところに逃げるだけ。

条件は色々考えている。新しい建物の防災の建築基準の見直しで、津波の高さが出るでしょうから、それに基づいて更に詰めていく。

3. 11を見て、揺れているときはそこから離れろと誘導をする位だけだろう。やはり避難経路とか色々あります。

クラブハウスの最大限の人数確保を考えてもらい、それを見ながら自分に来ることを考えていきたい。

【利用者】

新しい建物に関しては出来る限りの耐震化が必要である。それから先の事として、更に新しい調査でどういう風にするのか。

避難を民間に求めるのは難しいところがあり、官公庁の建物の中で、今の庁舎は発電機そのものが上にあって、タンクは下にあるところが多い。

現在埋蔵されているタンクの量は足りてはいるが、いざ利用しようとしたら、配管がやられるといった新たな問題も出てくる。

想定できる最高の津波対策・災害対策としてある程度の余裕を持ったキャパが必要と感じる。

【事務局】

意見交換としてはそれぞれの方に意見を聞いたので、見直しはその都度会を開くということ。

【利用者】

訂正して欲しい箇所がある。資料2の最終の②湘南港管理運営に関するご理解の2番目。

給油施設。対応状況が給油施設については、なぎさパークで免許等手続きを進めている段階との記載だが、現状では全く進めていない。ガソリタンク給

油施設に関しては自家タンクを設けなければならない。うちでは出来ないので、県でやってもらいたい。

一番下の汚水流しを作って頂きたいという対応状況がディングーヤードに排水溝があるので対応するとの記載だ、汚水流しを作って頂きたいのはディングーヤードではなく、クルーザーヤードです。

クルーザーヤードの赤や青の塗料が現在垂れ流しの状況。それではまずいので、排水、汚水流しを作って欲しいのが意見。ちょっと履き違いがある。現在それがないのでぜひお願いしたい。うちの方からのお願い。

【利用者】

オレンジ旗の件は問題提起ということで、資料だけ配らせて頂く。

【利用者】

津波の話ばかりになったけど、津波が来る前に揺れがくる。倒れないものを造ることが必要である。

【事務局】

それでは今日の議題は以上と言う事になります。次回は色々なことが見えてきた段階でご連絡させていただきますので、宜しくお願いいたします。